

柏崎刈羽原子力発電所の状況（10月分）

 令和2年11月13日
 防災局原子力安全対策課

1. 運転保守状況

項目 号機	炉型	定格出力 (万kW)	営業運転 開始日	11月12日現在 の状況	発電電力量 (10月分) (MWh/月)	設備利用率 (10月分) (%) [注]	中越沖地震発生時の状況 (上段：発生前) (下段：発生後)	概 要
1号機	BWR	110.0	S60. 9.18	定期検査中 H23. 8. 6～	0	0	停止中	特になし
2号機	BWR	110.0	H 2. 9.28	定期検査中 H19. 2.19～	0	0	調整運転中 自動停止	
3号機	BWR	110.0	H 5. 8.11	定期検査中 H19. 9.19～	0	0	運転中 自動停止	
4号機	BWR	110.0	H 6. 8.11	定期検査中 H20. 2.11～	0	0	運転中 自動停止	
5号機	BWR	110.0	H 2. 4.10	定期検査中 H24. 1.25～	0	0	停止中	
6号機	A BWR	135.6	H 8.11. 7	定期検査中 H24. 3.26～	0	0	停止中	
7号機	A BWR	135.6	H 9. 7. 2	定期検査中 H23. 8.23～	0	0	運転中 自動停止	

注：定格熱出力一定運転を行っているため、設備利用率は100%を超える場合がある。

2. 原子炉等規制法及び電気事業法に該当しない極く軽度な事象等（10月15日～11月12日発生分）

該当なし。

3. その他（10月15日～11月12日発生分）

(1) 低レベル放射性廃棄物を封入したドラム缶の構内運搬に係る不適合について

10月22日に7号機タービン建屋から固体廃棄物貯蔵庫へ構内運搬したドラム缶（原子炉内の清掃で発生した汚染された鋼材等を封入）の運搬記録の中で、運搬可能な基準を超える放射線量があったことを東京電力が確認した（23日）。東京電力は該当するドラム缶を再測定し、放射線量は基準値以下であり放射線安全上の影響はないことを確認したが、保安規定にある品質管理上の問題があったとしている。

26日、県は東京電力に対し、原因究明と再発防止を要請した。

 担当：原子力安全対策課
 （直通）025-282-1696 （内線）6453, 6454